

建築鉄骨ロボット溶接オペレータ技術検定試験受験申込書

< 新規(基本級・専門級)・追試(学科・口述) >

(上記()内の該当するものを○で囲んで下さい。)

(注1) 受験者本人が内容を確認し、押印(*1の箇所)して下さい。

(注2) 申請内容に従って評価します。申請内容が事実と相違していた場合は、口述試験の取り止め又は不合格とする場合があります。

写真貼付
脱帽、上半身で
最近6ヶ月以内
に撮影したもの
タテ 3.5cm
ヨコ 3.0cm
(全面のり付け)

		西暦		年	月	日		
一般社団法人 日本溶接協会 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ評価委員会 殿								
フリガナ						管理番号		
受験者氏名	(姓)				(名)	印 *1		
生年月日	西暦	年	月	日	生			
フリガナ				所属部課				
勤務先名				Tel. /Fax.	(Tel)			
同上所在地	〒							
連絡先氏名				所属部課				
希望する試験日のコードNo.を○で囲んでください。	コードNo.	試験日			試験会場			
	GK159	2024年09月07日(土)			東京			
	GK160	2024年09月08日(日)			大阪			
申請する種別記号の番号を○で囲んで下さい。()内はロボット型式認証記号の下7桁を記入して下さい。[型式認証書(附属書含む)のコードを添付下さい。]	基本級	01. PP-FS ()	02. PP-FF ()	03. SD-FN ()	04. CD-FN ()			
	専門級	05. PP-HS ()	06. PP-HF ()	07. PP-VS ()	08. PP-VF ()	09. SS-HA ()	10. CC-HN ()	
		11. HH-HS ()	12. HH-HF ()	13. BB-HC ()	14. BB-HN ()			
ロボットメーカー				ロボット機種				
現有の資格 JIS Z 3841 基本級・専門級	種類記号(適格性証明書のコピーを添付下さい)							
	基本級							
専門級								
建築鉄骨ロボット溶接オペレータ特別教育(右記に日付を記入)又は、ロボット操作日数100日以上(別紙、経歴の注記5)				特別教育の受講年月日	西暦	年	月	日

受験者の職務経歴証明書（新規、追試）

1. 建築鉄骨の溶接従事の確認

受験者氏名	印 *1	生年月日	西暦	年	月	日
申請時以前の建築鉄骨の溶接経験期間 *2		西暦	年	月	～	年 月
上記期間中に経験した主な溶接業務 (記入例：半自動溶接など)						

2. 建築鉄骨溶接の経歴（申請する機種について記入する）

産業用ロボット安全衛生特別教育 *3 の受講日	西暦	年	月	日
-------------------------	----	---	---	---

ロボットメーカー		ロボット機種		
期 間 (産業用ロボット特別 教育修了後から記入)	種別記号 (継手区分・姿勢 ・タブの種類)	対象工事名称	柱梁接合部形式*4	溶接操作 日数(訓練・ 補助を含む)
			柱断面 *4	
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通	
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○	
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通	
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○	
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通	
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○	
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通	
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○	
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通	
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○	
(自) 西暦 年 月			梁貫通・柱貫通	
(至) 西暦 年 月			H・T・十字・□・○	
溶接操作日数の合計 *5→				

[注記] *1：受験者本人が内容を確認して押印して下さい。

*2：1年以上の経験が受験資格になります。

*3：労働安全衛生法第59条、労働安全衛生規則第36条による。

*4：柱梁接合部形式、柱断面欄には、代表的な製作対象を○で囲んで下さい。

*5：新規については100日以上 of ロボット操作(訓練・登録者の補助)が必要です。操作期間は、産業用ロボット安全衛生特別教育修了後から申請日までで、かつ、申請日前3年に限ります。

なお、複数機種を同時に申請する場合も、機種ごとに100日以上が必要です。

なお、100日未満の場合、建築鉄骨ロボット溶接オペレータ特別教育の受講が必要です。

上記の記載内容に相違ないことを証明いたします。

会 社 名：

所 属・肩 書：

所属長の氏名：

印